

DiM

Driving Simulator

DXH SERIES

● *Driver in Motion* *The Innovative Driving Simulator*



Long-stroke version "DiM300" Now available !!

SAGInoMIYA

DiM Platform

概要

■ ドライビングシミュレータ DiM

“DiM”は、低周波領域の滑らかな動きと、高周波領域の極限走行状態を表す圧倒的なパフォーマンスによって、車両モデルベース開発 (MBD) の段階で、車両の挙動をドライバーがリアルタイムに体感できる革新的なドライビングシミュレータです。

“DiM”は、車両モデルの検証を可能とし、試作回数の低減・車両開発期間の短縮に役立つ新たなシミュレーションツールとして、既に多くの自動車メーカーに導入されています。

また、外部の運転支援システムと組み合わせれば、その挙動を“DiM”のコックピット上で安全に体感することができ、ADAS 開発を加速させるツールとして貢献します。

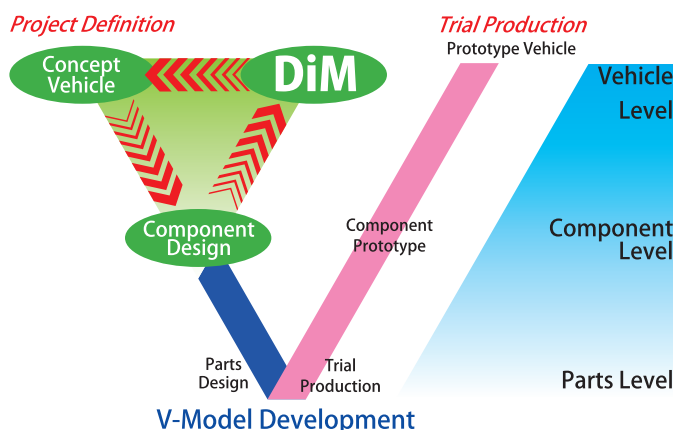
■ Hexapod (6DOF) + Tripod (3DOF) コンビネーションシステム

“DiM”は、全く新しいコンセプトの元に、SAGINOMIYAの長きにわたり培われた技術から新しく開発された電気サーボ Hexapod 6軸 + Tripod 3軸のコンビネーションシステムと Floating システムの組み合わせにより、小型ながら高いパフォーマンス性能を実現します。

軽量・高剛性・高応答の Hexapod は、X, Y, Z, Roll, Pitch, Yaw 方向の高周波を再現するとともに、ロングストロークで高速度の Tripod は、X, Y, Yaw 方向の低周波の車両ダイナミクス特性を再現し、Hexapod の動きを的確にサポートします。

この Hexapod と Tripod のコンビネーションと Floating システムが、“DiM”プラットフォームの革新的なパフォーマンスを作りだします。

Tripod をロングストローク化した“DiM300”は、より長時間の“加速度G”を再現することができ、評価できるシチュエーションの幅が更に広がります。

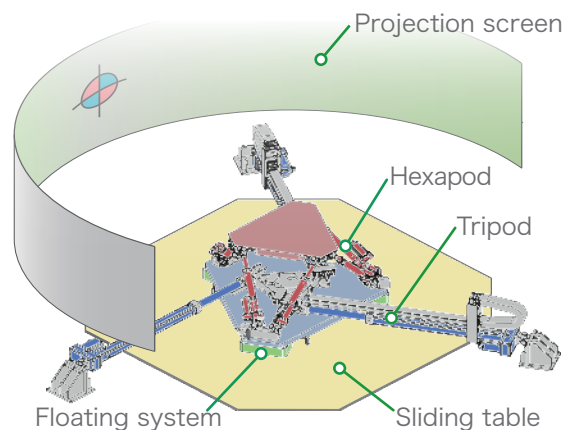


特長

■ 仕様

		DiM 150	DiM 250	DiM 300
最大加速度	X, Y		$\pm 25\text{m/s}^2$	
	Z		$\pm 35\text{m/s}^2$	
最大周波数			30Hz	
最大変位	X, Y	$\pm 0.75\text{ m}$	$\pm 1.25\text{ m}$	$\pm 1.50\text{ m}$
	Z		$\pm 0.28\text{ m}$	
	Yaw		$\pm 25^\circ$	
最大搭載質量			500kg	
設置室寸法	W, D, H	9m, 9m, 6m	12m, 12m, 6m	14m, 14m, 6m
電源	電圧		AC400V, 3相	
	電力	120kVA		140kVA
エア源		1500NL/min, 0.8MPa		

■ プラットフォーム (DiM 150)



株式会社 鷺宮製作所

<http://www.saginomiya.co.jp>

試験機営業部 TEL 03-6205-9126 FAX 03-6205-9127
〒169-0072 東京都新宿区大久保 3-8-2
新宿ガーデンタワー 22 階
E-mail dynamic-servo@saginomiya.co.jp

大阪営業所 TEL 06-6385-8011 FAX 06-6384-0859
〒564-0052 大阪府吹田市広芝町 10-28 オーク江坂

名古屋営業所 TEL 052-224-7120 FAX 052-224-7121
〒462-0844 愛知県名古屋市北区清水 4-1-13

⚠ 安全に関するご注意

ご使用前に「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しくお使いください。

製品改良の為、予告なしに仕様、構造などの変更を行うことがあります。